

第49回サントリー音楽賞受賞記念コンサート
Commemorative Concert of the 49th Suntory Music Award

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

メシアン:『峡谷から星たちへ』
Olivier Messiaen: *Des canyons aux étoiles ...*



指揮者
変更



指揮: 鈴木優人
Masato Suzuki, Conductor

©読響



ピアノ: 児玉 桃
Momo Kodama, Piano

©Marco Borggreve

2020.10.6[火] 19:00開演
(18:20開場)
サントリーホール 大ホール
Suntory Hall, Main Hall

S席: 10,000円/A席: 8,000円/B席: 6,000円/C席: 4,000円[税込]

【チケット発売日】 サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 7月8日[水]10時~14日[火]
一般発売 7月15日[水]10時~ ※先行期間中は窓口での販売はございません。

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10~18時)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:184-200]

イープラス eplus.jp/

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:33311]

主催:サントリーホール/共催:読売日本交響楽団/協賛:サントリーホールディングス株式会社

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対応上、出演者・曲目等に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報は、ホームページでお知らせします。
※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。



公演情報はこちら

読 響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



SUNTORY HALL

青少年をペアで10組20名様ご招待、詳細は裏面をご覧ください。

出演を予定しておりましたシルヴァン・カンブルランは来日の見通しが立たないため、鈴木優人に変更となりました。

第49回サントリー音楽賞受賞記念コンサート

Commemorative Concert of the 49th Suntory Music Award

日本の洋楽発展に最も顕著な功績のあった個人または団体に贈られるサントリー音楽賞。第49回(2017年度)は読売日本交響楽団が受賞しました。当該年のハイライトとして、シルヴァン・カンブルラン指揮によるメシアン『アッシジの聖フランチェスコ』の抜きん出た成功が記憶に新しく、今回の記念コンサートでは、同じくメシアンの大作『峡谷から星たちへ』を披露します。オーケストラとピアノが、大自然、鳥、宇宙を紡ぎ出す壮麗な作品を通じて、読売日本交響楽団の現在をお聴きください。※新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、当初予定していた曲目から変更となりました。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

第49回(2017年度)サントリー音楽賞贈賞理由

読売日本交響楽団は、ゲルト・アルブレヒト、スタニスラフ・スクロヴァチェフスキを継いでシルヴァン・カンブルランが常任指揮者に就任してからも演奏能力を飛躍的に向上させ、国際的な視点からのレパートリー作りを励行し、世界的に見ても第一級のオーケストラへと成長して、日本のオーケストラ界をリードする存在となった。

2017年も、シモーネ・ヤングやファビオ・ルイーゼ、下野竜也、鈴木秀美、飯守泰次郎などの指揮者や、ギドン・クレーメルといったヴァイオリニストとの共演で、定期演奏会や特別公演で意欲的かつ優れた演奏を聴かせた。また、カンブルランとはメシアンの《彼方の閃光》とオペラ大作《アッシジの聖フランチェスコ》(日本初演)を演奏会形式で3回取り上げて破格の成功を収めた。

《アッシジ》は20世紀オペラの金字塔かつ巨峰として、編成も規模も巨大かつ長大な作品であるが、読売日本交響楽団は充実した事務局体制の下、十分な練習時間を積み、万全の準備で初演に臨んで、独唱・合唱とも一体となった陶然とした時空間を作り上げた。メシアンのカトリック的宗教理念を超え、現代作品という敷居を超えて、多くの聴衆にその普遍的な真意を伝えた功績は大きい。演奏会のみならず、同楽団はリチャード・ジョーンズ演出による二期会の《ばらの騎士》では甘く洒脱な演奏を、新国立劇場の《神々の黄昏》では飯守泰次郎指揮下に重厚で逞しい音楽を聴かせ、また日生劇場でのドヴォルザーク《ルサルカ》公演でも、山田和樹の棒で豊かな詩情を表現するなど、オペラの舞台公演においても多彩な活動で2017年の音楽界を席卷した。

以上の理由から、ここに到るまでの経緯も含めて、第49回サントリー音楽賞を贈賞する。



指揮: 鈴木優人

Masato Suzuki, Conductor

1981年オランダ生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院古楽科修了。オランダのハーグ王立音楽院修了。指揮者・鍵盤楽器奏者・作曲家として活躍。2018年パッハ・コレギウム・ジャパンの首席指揮者に就任。また調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサーを務めるほか、NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するなど、多岐にわたり活動中。第18回ホテルオーケストラ音楽賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。読響には16年にデビュー後、意欲的なプログラムで共演を繰り返し、今年4月に読響の指揮者／クリエイティブ・パートナーに就任。



読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。現在、常任指揮者をセバスティアン・ヴァイグレが務め、サントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を多数開催。演奏会などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されている。2017年にはカンブルラン指揮のメシアン『アッシジの聖フランチェスコ』(全曲日本初演)が好評を博し、サントリー音楽賞などを受賞した。

<https://yomikyo.or.jp/>



ピアノ: 児玉 桃

Momo Kodama, Piano

J. S. パッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。1991年ミュンヘン国際音楽コンクールで最高位に輝く。ベルリン・フィル、ボストン響、モントリオール響などと共演。また2008年メシアン生誕100年記念シリーズ公演、13年ルツェルン音楽祭、ウィグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱作品「細川俊夫: 練習曲集」によるリサイタルプロジェクトなど、個性的な活動も展開。CD録音も活発に行い、高い評価を得ている。09年芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パリ在住。



@SuntoryHall_PR



@suntoryhallJAPAN

【青少年をペアでご招待】

中学生から25歳までの方とその同伴者1名を、ペアで10組20名様ご招待します。なお、中学生のご参加には成人引率者の同伴が必要となります。

■応募方法: サントリーホールのHPトップのニュース&トピックス欄からお申し込みいただけます。

■募集期間: 2020年7月21日[火]~8月13日[木]



■当選発表: 応募者多数の場合は抽選となります。ご当選者の発表は、9月中旬に配信する当選者通知メールをもって代えさせていただきます。なお、抽選結果のお問合せはご遠慮ください。当日は当選通知メールと、学生証など年齢のわかるものをご提示いただき、座席指定券と引き換えます。

■お問合せ先: サントリーホールチケットセンター <http://suntory.jp/HALL/> 0570-55-0017